

Newsletter



Institute for International Monetary Affairs

公益財団法人 国際通貨研究所

ロシア経済悪化の欧州連合（EU）経済への影響

公益財団法人 国際通貨研究所

経済調査部 上席研究員

山口 綾子

yamaguchi@iima.or.jp

<要旨>

- EU とロシアは、エネルギー関連などを中心に相互に強い経済関係を持つ。
- エネルギー面では、EU にはガスや原油をロシアからの輸入に依存する国が多い。特にバルト3国（リトアニア、ラトビア、エストニア）、フィンランド、中東欧諸国（チェコ、スロバキア、ブルガリア、ハンガリーなど）の依存度は高い。ロシアからの供給が途絶えるようなことがあれば、影響は大きい。しかしロシアにとり EU は5割を超えるエネルギー輸出先であり、よほどのことがないかぎり、全面禁輸などに踏み切るとは考えがたい。
- ロシア経済悪化に伴う EU 経済への影響として、輸出、直接投資、金融機関経営などのルートを通じた影響が考えられる。個別にみると、エネルギー供給面とも共通し、バルト3国、中東欧諸国、フィンランドなどが、ロシアとの結びつきが強い。しかし、これらの国は EU 加盟交渉を通じ EU との結びつきを強めてきている。EU からの支援による影響緩和にも相応の期待ができる。
- ウィーン比較経済研究所の試算によれば、EU のロシア向け輸出が①10%、②50%減少というケースで、EU28 カ国の GDP をそれぞれ、①0.08、②0.42%ポイント押し下げる。②の50%減少はかなり極端な前提であり、EU 全体としてみれば、影響は限定的とみてよからう。

<本文>

ロシア政府によるウクライナ反政府勢力への支援、クリミアおよびセヴァストポリ特別市のロシア連邦への「併合」を受けて、2014年3月欧州連合（EU）は対ロシア経済制裁措置に踏み切った。7、8月にはマレーシア航空機の撃墜事件（7月）を受けて、EUはさらに制裁を強化した。欧州資本市場へのロシアのアクセス制限・資産凍結、対象を特定した入国禁止、軍事的に重要な物資やエネルギー技術・武器の対ロシア輸出禁止などの措置が行われた。それに対して、ロシア側は8月にEUからの農産物・食料品の1年間の輸入禁止などの報復措置をとった。こうした経済制裁に加え、原油価格の低迷もあって足下ではロシア経済の悪化がめだっている。

今後ロシア経済の悪化がさらに深刻化した場合のEU経済への影響としては、エネルギー供給、貿易・投資、金融市場を通じたものが考えられる。

エネルギー供給

エネルギー供給については、バルト3国（リトアニア、ラトビア、エストニア）、フィンランド、中欧諸国（チェコ、スロバキア、ブルガリア、ハンガリーなど）の対ロシア依存度が高い。特にガスについては、これらの国はロシアからのパイプライン経由の輸入にほぼ100%依存している。今後ロシアからの供給が途絶えれば、エネルギー価格の上昇、経済活動の制約、冬場の暖房需要の未達など、これらの国の経済・社会に大きな影響を及ぼすリスクがある。

しかしEU全体としてみればロシアへの輸入依存度はガスで26%、原油で32%にとどまっている。またロシアにとりエネルギーは重要な外貨獲得手段であり、欧州は重要なエネルギーの輸出先である。2013年のロシアの燃料輸出は3,720億ドル、うちEU向けは1,972億ドルと5割以上を占めている。ロシアにとり禁輸は自ら首を絞める行為であり、全面的禁輸は考えにくい。エネルギーに関しては、ロシアとEUは相互に強く依存しあっている。

なお、ノルウェーやオランダなどからのガス供給を増やしたり、ガスから他のエネルギー（石炭、原油など）へのシフトによって対応が可能との意見もある¹。しかし、前者は環境問題などから対応が困難であり、後者については、エネルギー転換のための設備投資が必要であり、短期的には現実的シナリオではない（オランダの商業銀行エネルギー担当エコノミストのコメント）。実際に禁輸が行われれば、かなりの影響が予想される。

夏場の時点ではエコノミストの多くは、ウクライナ問題によるエネルギー価格の上昇を懸念していたが²、足下ではエネルギー価格は下落傾向にあり、EU諸国のインフレ率

¹ 後掲参考文献 Zachman(2014)

² 後掲参考文献 CESifo(2014/8)

低下の一因となっているほどである。

図表 1 : EU 各国の石油、ガス輸入の対ロシア依存度

○ガス輸入(2012年)		単位:テラジュール		
	対ロシア	対世界	ロシアシェア	
1	Czech Republic	284,013	284,123	100.0%
2	Slovakia	184,190	184,190	100.0%
3	Finland	139,801	139,801	100.0%
4	Lithuania	123,540	123,540	100.0%
5	Bulgaria	95,029	95,029	100.0%
6	Latvia	64,115	64,115	100.0%
7	Estonia	25,372	25,372	100.0%
8	Hungary	307,500	313,776	98.0%
9	Romania	91,505	106,877	85.6%
10	Austria	339,275	541,064	62.7%
11	Greece	94,170	170,908	55.1%
12	Slovenia	13,839	32,953	42.0%
13	Germany	1,272,265	3,446,585	36.9%
14	Italy	688,505	2,580,323	26.7%
15	Luxembourg	11,735	48,895	24.0%
16	France	268,956	1,970,780	13.6%
17	Netherlands	97,711	869,745	11.2%
18	Poland	189	467,218	0.0%
19	United Kingdom	0	1,970,280	0.0%
20	Sweden	0	46,827	0.0%
21	Spain	0	1,419,084	0.0%
22	Portugal	0	182,460	0.0%
23	Ireland	0	178,557	0.0%
24	Denmark	0	36,502	0.0%
25	Croatia	0	51,291	0.0%
26	Belgium	0	659,034	0.0%
27	Malta	0	0	0.0%
28	Cyprus	:	:	0.0%
	EU合計	4,101,710	16,009,329	25.6%

(資料) Eurostatより作成

○原油輸入(2012年)		単位:千トン		
	対ロシア	対世界	ロシアシェア	
1	Lithuania	8,509	8,512	100.0%
2	Bulgaria	5,885	5,885	100.0%
3	Slovakia	5,376	5,376	100.0%
4	Hungary	5,389	5,449	98.9%
5	Poland	23,518	24,633	95.5%
6	Finland	9,100	10,243	88.8%
7	Croatia	1,688	2,325	72.6%
8	Czech Republic	4,545	7,074	64.2%
9	Sweden	8,740	20,673	42.3%
10	Germany	34,701	93,421	37.1%
11	Belgium	11,616	31,569	36.8%
12	Greece	6,970	20,953	33.3%
13	Romania	1,548	5,128	30.2%
14	Netherlands	14,929	49,833	30.0%
15	France	8,068	56,568	14.3%
16	Austria	1,047	7,473	14.0%
17	Spain	8,201	58,807	13.9%
18	Italy	9,294	68,826	13.5%
19	United Kingdom	6,583	53,763	12.2%
20	Portugal	380	11,058	3.4%
21	Denmark	0	3,717	0.0%
22	Cyprus	:	:	
23	Estonia	:	:	
24	Ireland	:	2,939	
25	Latvia	:	:	
26	Luxembourg	:	:	
27	Malta	:	:	
28	Slovenia	:	:	
	EU合計	176,087	554,225	31.8%

(資料) Eurostatより作成

ロシア向け輸出

貿易面では、EU からの禁輸対象となるのは武器や軍用に転換可能な物品に限られており、その点からの影響は小さい。しかし、ロシア経済の減速を受け EU 各国の対ロシア輸出の減少は避けられそうにない。EU 各国の対ロシア輸出の輸出全体に占めるシェア(2013年 IMF データ)をみると、最も依存度の高いリトアニア 20%、ラトビアが 16%、エストニア 12%、フィンランド 9%、ポーランド 5.2%、スロベニア 5%、チェコ、ク

ロシア、オーストリア、ドイツ、ハンガリーがそれぞれ3%、その他の国は3%を下回り、EU全体でも2.5%にすぎない。

図表2：EU各国の輸出（対ロシア、対EUのシェア）

○輸出金額(2013年) 単位:百万ドル

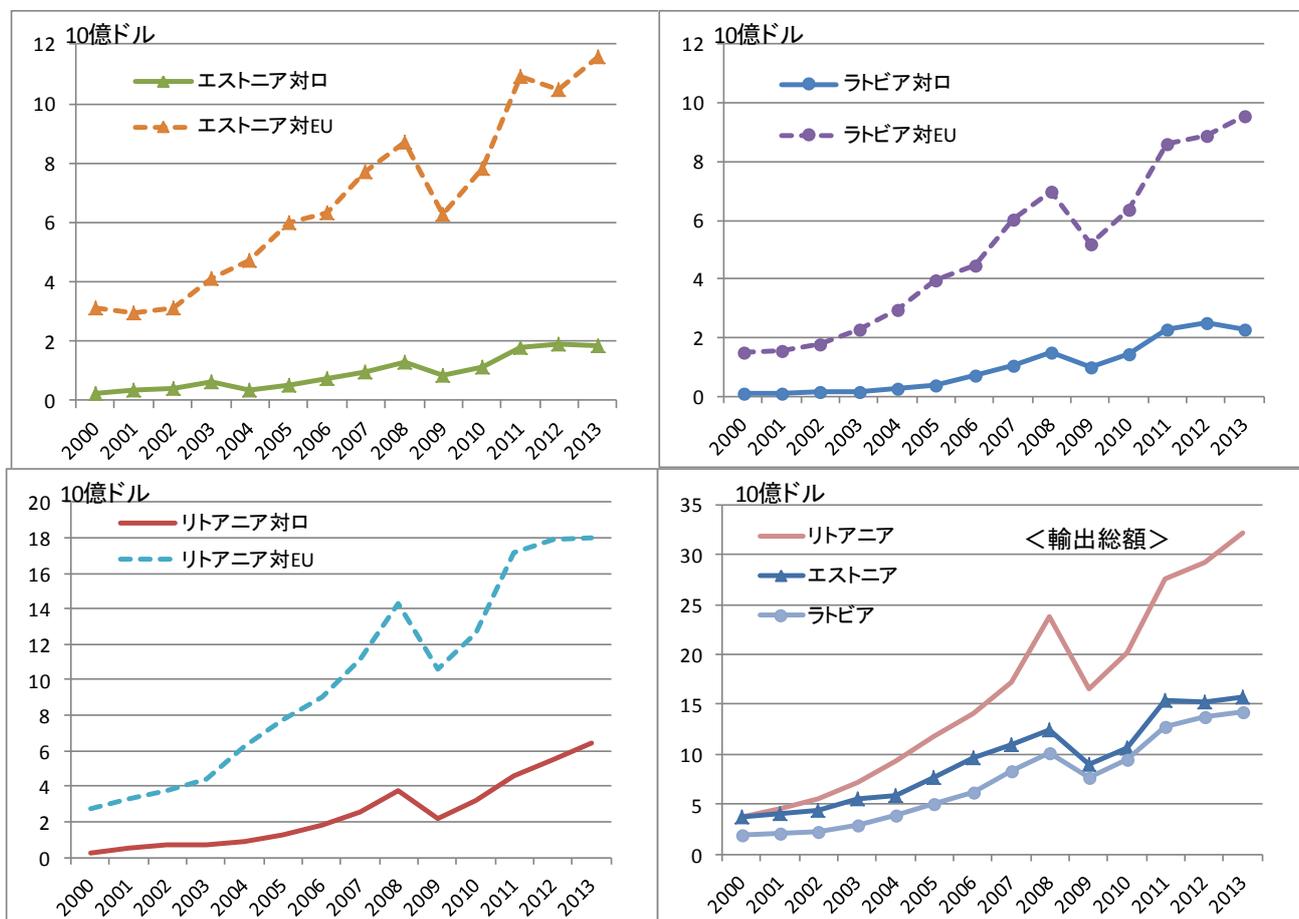
	対ロシア	対世界	ロシアシェア	EUシェア
Lithuania	6,434	32,190	20.0%	56.0%
Latvia	2,303	14,218	16.2%	67.0%
Estonia	1,846	15,803	11.7%	73.2%
Finland	6,934	73,394	9.4%	55.8%
Poland	10,223	196,947	5.2%	78.0%
Slovenia	1,564	33,880	4.6%	75.1%
Czech Republic	5,149	160,340	3.2%	82.1%
Croatia	378	11,798	3.2%	59.4%
Austria	5,340	168,809	3.2%	72.7%
Germany	42,971	1,365,710	3.1%	60.6%
Hungary	3,102	104,621	3.0%	79.8%
Romania	1,805	64,503	2.8%	71.1%
Italy	13,893	510,180	2.7%	54.5%
Slovakia	2,063	80,536	2.6%	88.4%
Bulgaria	738	29,096	2.5%	60.8%
Sweden	3,011	159,831	1.9%	60.1%
Malta	46	2,537	1.8%	61.0%
Denmark	1,929	107,494	1.8%	64.7%
Cyprus	32	1,887	1.7%	49.3%
France	9,168	567,968	1.6%	60.4%
Netherlands	10,211	659,517	1.5%	76.6%
Belgium	6,148	452,380	1.4%	72.7%
Greece	444	35,781	1.2%	45.5%
Spain	3,653	307,795	1.2%	63.7%
Luxembourg	207	18,450	1.1%	80.0%
United Kingdom	4,365	495,778	0.9%	45.8%
Ireland	682	108,544	0.6%	59.8%
Portugal	348	62,226	0.6%	69.9%

(資料)IMFより作成

バルト3国のロシア依存度の高さが際立っているが、それでもこれらの国は、EU加盟の過程でEUとの貿易を着実に増やしてきた(図表3)。2013年時点ではEU向け輸出は全体の6-7割を占める。これらの国にとっては、ロシア経済の低迷より西欧諸国の景気低迷の方が懸念材料なのではないか。

EU全体でみても、英国、ギリシャ、キプロスを除いて、EUとの貿易が過半を占めている。

図表 3：バルト 3 国の輸出動向(各国のロシア向け輸出と EU 向け輸出)

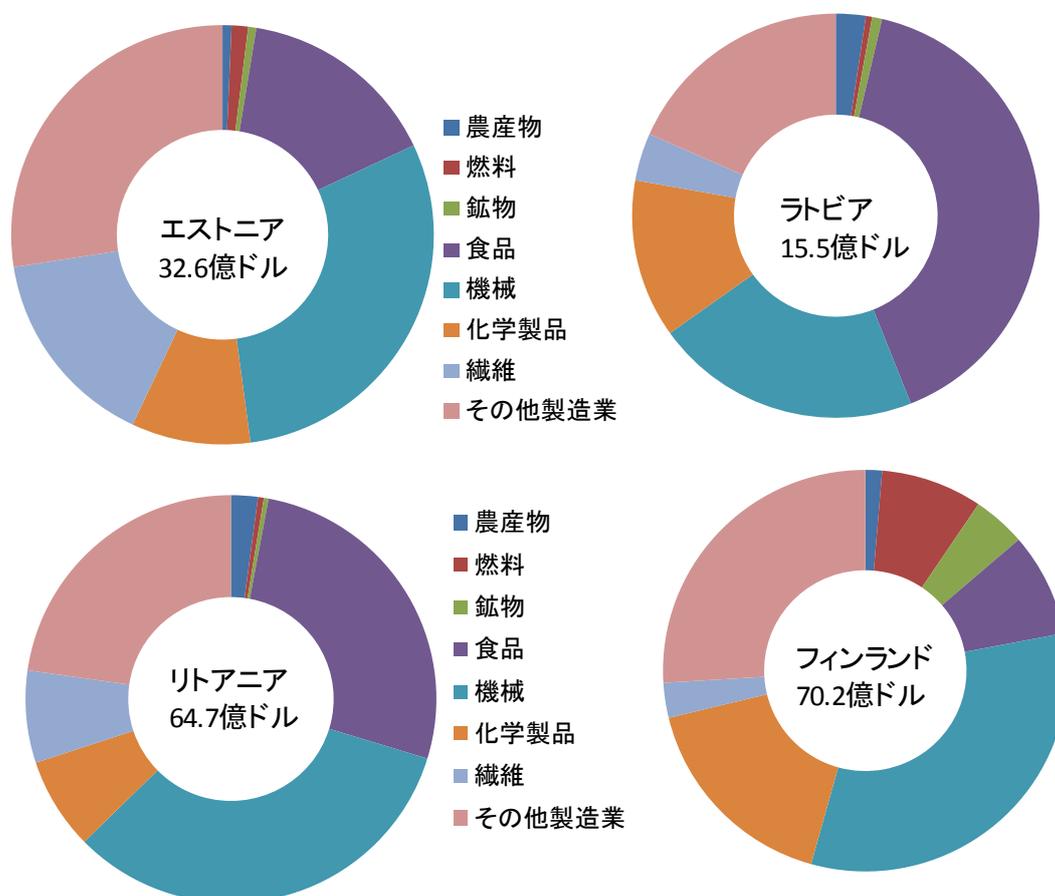


(資料)IMFデータより作成

対ロシア輸出依存度の高いバルト 3 国およびフィンランドについて、ロシア向け輸出の商品別内訳をみたものが図表 4 である。各国とも製造業製品が過半を占めるが、その多くが消費財である。製造業製品のうち、機械・電機が最も多く、フィンランド、ラトビアでは化学製品、エストニアでは繊維のシェアが高い。また、これらの国に共通して食品のシェアも比較的高い。このため、ロシアによる EU からの農産品・食品の輸入禁止措置がこれらの国に与える影響も無視できない。

EU はロシアによる農産品・食品の輸入禁止措置が EU 加盟国に与える影響を緩和する措置として、2014 年 8、9 月に農産物市場に対する緊急市場支援、合計約 2 億ユーロ、11 月にはバルト 3 国の畜産業者向けに 2,800 万ユーロ、12 月にはフィンランドの畜産業者向けに 1,070 万ユーロの支援を決定した。

図表 4：各国の対ロシア輸出の品目別内訳（2013 年）



(資料)世界銀行データより作成

なお、西欧諸国のうち最もロシア向け輸出の GDP 比が高く、所得弾性値が高いドイツの例でみると、ロシアの GDP 成長率が 10%ポイント低下したケースで、ドイツの成長率は 0.4%ポイント低下する計算になる。

図表 5：ロシア向け輸出減少に伴う西欧への影響

	ロシア向け輸出のGDP比	ロシアのGDPが1%ポイント減少した場合の成長率の変動幅 (%ポイント)
ドイツ	1.2%	-0.042
イタリア	0.7%	-0.015
フランス	0.3%	-0.011
スペイン	0.3%	-0.010
英国	0.2%	-0.006

(資料)IMF,Eurostat 成長率の変動幅はBTMU経済調査室試算。

直接投資

投資面では、各国の対外直接投資残高をみると、対ロシア投資の全体に占めるシェアはキプロスが13%と圧倒的に高く、スロベニア、リトアニア、エストニア、オーストリアが5%台、フィンランド2.8%となっている。

一方、対内直接投資残高でみると、ロシアからの投資の全体に占めるシェアはキプロスが13%とこちらも圧倒的に高く、オーストリア5%、バルト3国4%台後半、ブルガリア4%の順となっている。

キプロスが最も大きいですが、キプロスからの対ロシア投資は、ロシアの投資家によるキプロス籍の会社を通じた投資（節税目的によるもの）である。したがって仮にロスが生じてもキプロス自身への影響は小さいとみられる³。

図表6：EU各国の対外直接投資残高 2012年末現在 (単位:100万ユーロ)

	対外直接投資 outward				対内直接投資 inward			
	世界全体	ロシア	ロシアシェア	GDP比	世界全体	ロシア	ロシアシェア	GDP比
European Union (27 countries)	12,383,453	189,473	1.5%		10,559,225	76,593	0.7%	
1 Cyprus	5,582	733	13.1%	4.1%	15,952	2,198	13.8%	12.4%
2 Slovenia	5,599	326	5.8%	0.9%	11,724	47	0.4%	0.1%
3 Lithuania	1,953	111	5.7%	0.3%	12,101	575	4.8%	1.7%
4 Estonia	4,456	253	5.7%	1.5%	14,667	681	4.6%	3.9%
5 Austria	160,923	8,494	5.3%	4.3%	124,574	6,535	5.2%	3.4%
6 Latvia	850	32	3.8%	0.1%	10,333	487	4.7%	2.2%
7 Finland	114,741	3,197	2.8%	1.7%	73,250	583	0.8%	0.3%
8 Poland	43,644	1,076	2.5%	0.3%	178,878	513	0.3%	0.1%
9 Hungary	25,760	582	2.3%	0.6%	77,487	-96	-0.1%	-0.1%
10 Italy	405,512	7,986	2.0%	0.5%	275,598	447	0.2%	0.0%
11 Sweden	299,705	5,633	1.9%	1.4%	276,390	-183	-0.1%	0.0%
12 Germany	1,167,134	19,041	1.6%	0.7%	761,033	3,456	0.5%	0.1%
13 Croatia	3,351	45	1.3%	0.1%	23,917	156	0.7%	0.4%
14 Czech Republic	12,754	169	1.3%	0.1%	103,078	411	0.4%	0.3%
15 Bulgaria	1,518	20	1.3%	0.0%	37,756	1,666	4.4%	4.1%
16 France	1,189,033	12,333	1.0%	0.6%	780,532	1,685	0.2%	0.1%
17 Netherlands	749,321	5,375	0.7%	0.9%	463,313	558	0.1%	0.1%
18 United Kingdom	1,333,226	7,555	0.6%	0.4%	1,147,472	1,492	0.1%	0.1%
19 Denmark	183,566	1,007	0.5%	0.3%	113,743	496	0.4%	0.1%
20 Slovakia	3,344	15	0.4%	0.0%	42,304	-266	-0.6%	-0.4%
21 Malta	1,061	4	0.4%	0.1%	12,333	13	0.1%	0.2%
22 Spain	481,789	1,192	0.2%	0.1%	475,767	3,830	0.8%	0.4%
23 Romania	980	2	0.2%	0.0%	58,915	79	0.1%	0.1%
24 Greece	34,124	46	0.1%	0.0%	18,799			0.0%
25 Luxembourg	88,130	84	0.1%	5.7%	86,245			0.0%
26 Belgium	338,683	279	0.1%	0.2%	381,970	-797	-0.2%	-0.4%
27 Ireland	288,026	208	0.1%	0.1%	257,513	320	0.1%	0.2%
28 Portugal	57,639	19	0.0%	0.0%	90,783	62	0.1%	0.0%

(資料) Eurostatより作成

³ 後掲参考文献 Moody's Investor Service (2014)

金融セクター

金融面では、欧州銀行の対ロシア債権の全体に占めるシェア（2014年6月末現在、BIS データ）は、最も大きいイタリアの銀行でも3.4%（GDP比1.4%）、フランス1.6%（同1.8%）、オランダ1.2%（同2.1%）、スウェーデン1.1%（同1.9%）、ドイツ0.8%（同0.6%）程度にとどまっている。

図表7：EU各国の銀行の対外債権（2014年6月現在）

（単位:100万ドル）

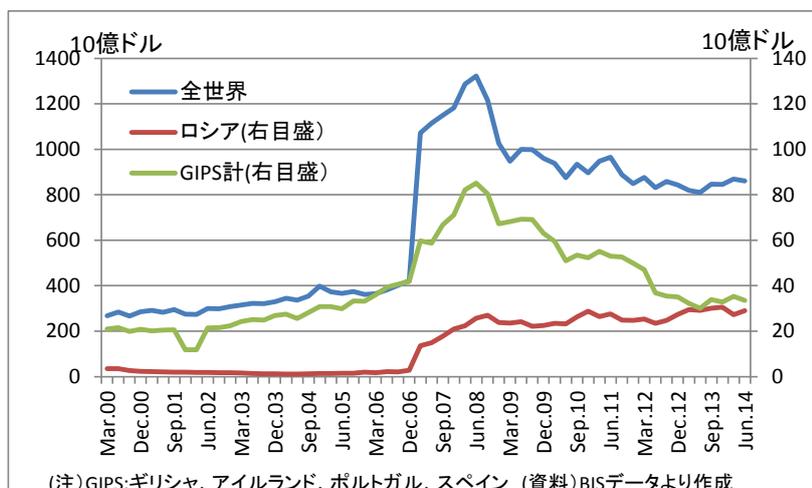
	対世界	対ロシア	ロシアシェア
European banks	18,038,113	174,795	1.0%
Italy	861,546	29,040	3.4%
France	3,173,580	50,613	1.6%
Netherlands	1,385,859	16,887	1.2%
Sweden	986,054	10,540	1.1%
Germany	2,851,074	21,547	0.8%
United Kingdom	3,817,387	14,718	0.4%
Belgium	260,247	749	0.3%
Greece	170,690	358	0.2%
Spain	1,595,720	2,681	0.2%
Portugal	121,894	101	0.1%
Denmark	248,160	78	0.0%
Austria	421,685	...	
Finland	28,854	...	
Ireland	129,628	...	

（資料）BIS統計, Eurostatより作成

対ロシアシェアが最も大きいイタリアの銀行についてみると、グローバル金融危機後の対ロシア債権はほとんど横ばいであったが、GIPS（ギリシャ、アイルランド、ポルトガル、スペイン）向け債権を大きく減らしてきたこともあり、対ロシアシェアは高まっている。

イタリアの銀行セクターは2014年10月に公表された欧州中央銀行（ECB）のストレステストで、対象行15行中9行が資本不足と指摘された。このようにバランスシート問題を抱えるイタリアの銀行セクターにとっては、ロシア向け債権がさらに不良債権化するリスクは懸念材料である。とはいえ、対ロシア債権はGDP比で見れば1.4%にすぎない。経済を大きく混乱させるほどの大きな影響を心配することもなからう。

図表 8：イタリアの銀行の対外債権



ウィーン比較経済研究所の試算

対ロ制裁およびそれに伴うロシア経済の減速は、バルト3国、中東欧諸国など、ロシアとの関係が緊密な国には、さまざまな経路を通じ、相応の影響があるとみられる。

中東欧経済研究で名高いウィーン比較経済研究所は、2014年11月に「ウクライナ危機の経済的影響」というレポートを発表した⁴。同レポートでは、ロシア向け財・サービス輸出⁵が①10%減少、②50%減少した場合に、EUのGDPに与える影響を試算している。その結果によれば、EU28カ国全体で、①の10%減少ケースで0.08%ポイント、②の50%減少ケースで0.42%ポイントGDPが押し下げられる。国別では、リトアニア(①0.44、②2.19)、エストニア(①0.36、②2.19)、スロバキア(①0.30、②1.51)、ラトビア(①0.25、②1.23)、ブルガリア(①0.22、②1.08)、チェコ(①0.21、②1.04)、スロベニア(①0.18、②0.92)、ハンガリー(①0.17、②0.84)、フィンランド(①0.15、②0.77)の順に影響が大きい(図表9)。

EU全体としてみると、ロシアのシェアが3%を超えるのは、繊維、薬品、電気機器、機械、輸送機械。

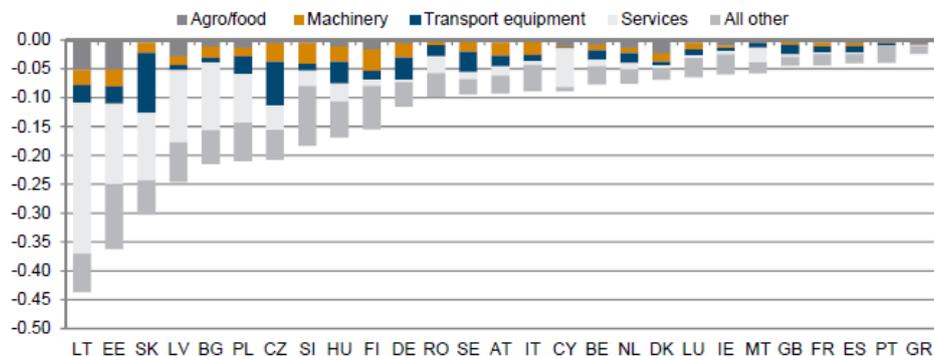
またロシアの対EU農産物・食品輸出の禁輸措置についての試算では、最も影響の大きいリトアニアではGDPが2.66%ポイント押し下げられる可能性がある。エストニア(0.33)、ラトビア(0.29)、ポーランド(0.22)なども相応の影響が予想される(図表10)。

⁴ 後掲参考文献 The Vienna Institute for International Economic Studies (2014)

⁵ ウィーン比較経済研究所によれば、EU諸国のロシア向けサービス輸出は、旅行、運輸などが中心。GDP比が大きいのは、キプロス、リトアニア、エストニア、ブルガリア、ラトビア、フィンランド、マルタ。

図表 9-①：ロシア向け財・サービス輸出が 10%減少するケース

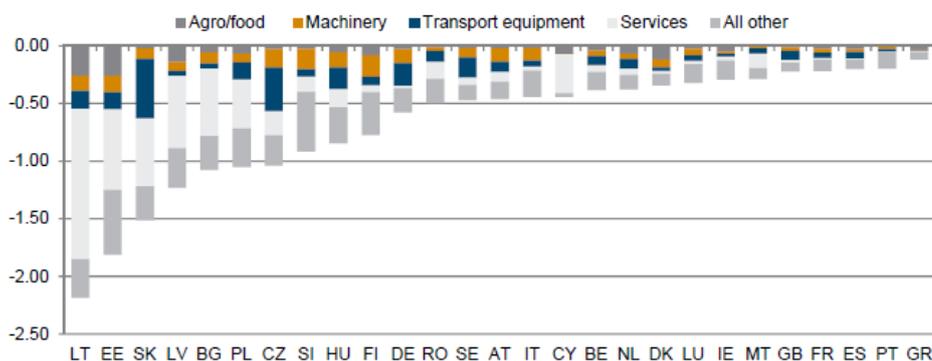
Figure 7a / Estimated loss of GDP (in %) if gross exports to Russia drop by 10%



Source: Estimates based on Eurostat Comext and WIOD data (calculations by R. Stehrer, wiiw).

図表 9-②：ロシア向け財・サービス輸出が 50%減少するケース

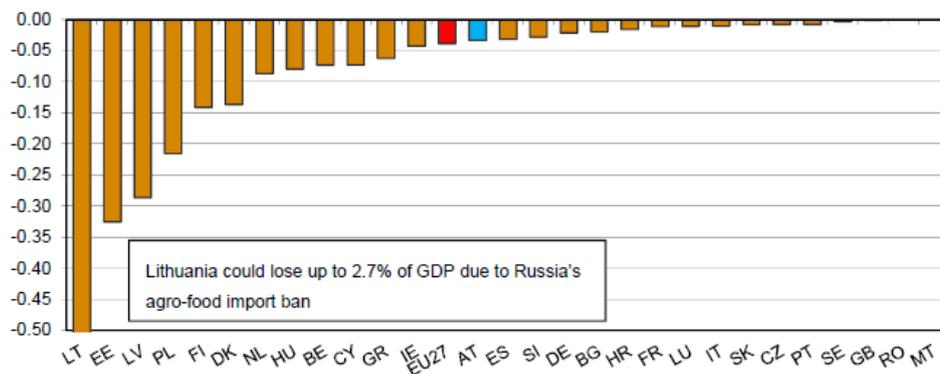
Figure 7b / Estimated loss of GDP (in %) if gross exports to Russia drop by 50%



Source: WIOD database, calculations by R. Stehrer (wiiw).

図表 10：ロシアによる対 EU 農産物・食品禁輸措置の影響

Figure 8 / Estimated loss of GDP (in %) resulting from Russia's agro-food import ban



Source: Own estimates based on Eurostat databases (http://ec.europa.eu/agriculture/statistics/trade/2012/annex4_en.pdf).

図表 9,10 の出所：後掲参考文献 ウィーン比較経済研究所 (2014)

(参考資料 1) 欧州委員会による各国の経済成長率見通し

	実績平均				見込み	見通し		前回比	
	1995-99	2000-04	2005-09	2010-13	2014	2015	2016	2014	2015
EU	:	2.3	0.9	0.9	1.3	1.5	2.0	↓	↓
ユーロ圏	2.5	1.9	0.7	0.6	0.8	1.1	1.7	↓	↓
ベルギー	2.7	2.1	1.2	1.1	0.9	0.9	1.1		↓
ドイツ	1.7	1.0	0.6	2.1	1.3	1.1	1.8	↓	↓
エストニア	5.7	7.2	1.0	4.3	1.9	2.0	2.7	↓	↓
アイルランド	9.7	5.6	1.3	0.6	4.6	3.6	3.7	↑	↑
ギリシャ	3.3	4.5	1.0	-6.1	0.6	2.9	3.7		
スペイン	3.6	3.7	1.8	-1.0	1.2	1.7	2.2	↓	↓
フランス	2.6	2.1	0.7	1.2	0.3	0.7	1.5	↓	↓
イタリア	1.8	1.5	-0.5	-0.5	-0.4	0.6	1.1	↓	↓
キプロス	4.7	3.9	2.9	-1.5	-2.8	0.4	1.6	↑	↑
ラトビア	3.7	7.4	2.3	2.8	2.6	2.9	3.6	↓	↓
リトアニア	4.6	6.9	2.4	3.7	2.7	3.1	3.4	↓	↓
ルクセンブルク	4.7	3.9	2.0	3.7	3.0	2.4	2.9	↑	↑
マルタ	4.5	2.6	2.1	2.4	3.0	2.9	2.7	↑	↑
オランダ	3.8	1.6	1.8	2.6	0.9	1.4	1.7		↑
オーストリア	2.9	2.0	1.3	0.1	0.7	1.2	1.5	↓	↓
ポルトガル	3.8	1.5	0.4	1.5	0.9	1.3	1.7	↓	↓
スロベニア	4.3	3.6	2.3	-1.2	2.4	1.7	2.5	↑	↑
スロバキア	4.5	4.0	5.0	-0.5	2.4	2.5	3.3	↑	↓
フィンランド	4.8	3.2	0.8	2.6	-0.4	0.6	1.1	↓	
ブルガリア	-2.0	5.2	3.9	1.1	1.2	0.6	1.0	↓	↓
チェコ	2.2	3.5	3.2	0.7	2.5	2.7	2.7	↑	↑
デンマーク	2.9	1.6	0.2	0.5	0.8	1.7	2.0	↑	↑
クロアチア	:	4.4	1.6	-1.3	-0.7	0.2	1.1	↑	↑
ハンガリー	2.5	4.2	0.5	0.7	3.2	2.5	2.0	↑	↓
ポーランド	6.0	3.1	4.7	3.0	3.0	2.8	3.3	↓	↓
ルーマニア	0.7	5.4	3.9	1.1	2.0	2.4	2.8	↓	↑
スウェーデン	3.4	3.0	1.0	2.5	2.0	2.4	2.7	↓	↓
英国	3.6	3.1	0.7	1.5	3.1	2.7	2.5		

(注) ↑ 上方修正、↓ 下方修正。(資料) 欧州委員会 "Autumn 2014 economic forecast" より作成

(参考資料 2) 国内エネルギー消費の内訳 (2013 年)

geo\product	全体 (石油換算 百万トン)	① 固形燃料	② 石油製品	③ ガス	④ 原子力	⑤再生可 能エネル ギー	②+③ 石油+ガス
EU (28 countries)	1,667.3	27%	38%	18%	12%	4%	56%
Belgium	56.7	6%	41%	25%	19%	6%	66%
Bulgaria	16.8	35%	21%	14%	22%	11%	35%
Czech Republic	42.2	39%	20%	16%	19%	8%	37%
Denmark	18.1	17%	37%	18%	0%	24%	56%
Germany	324.3	25%	34%	22%	8%	10%	56%
Estonia	6.7	66%	16%	8%	0%	13%	24%
Ireland	13.7	15%	49%	28%	0%	6%	77%
Greece	24.4	29%	47%	13%	0%	11%	60%
Spain	118.6	9%	42%	22%	12%	15%	64%
France	259.3	5%	30%	15%	42%	9%	45%
Croatia	7.8	9%	41%	29%	0%	16%	70%
Italy	160.0	9%	36%	36%	0%	16%	72%
Cyprus	2.2	0%	94%	0%	0%	6%	94%
Latvia	4.5	2%	32%	27%	0%	36%	58%
Lithuania	6.7	4%	36%	32%	0%	18%	69%
Luxembourg	4.3	1%	64%	21%	0%	4%	85%
Hungary	22.7	10%	25%	34%	17%	8%	59%
Malta	0.8	0%	99%	0%	0%	1%	99%
Netherlands	81.2	10%	41%	41%	1%	4%	82%
Austria	33.8	10%	36%	21%	0%	30%	57%
Poland	98.2	54%	23%	14%	0%	9%	37%
Portugal	22.6	12%	46%	17%	0%	24%	63%
Romania	32.3	18%	26%	30%	9%	17%	56%
Slovenia	6.9	20%	35%	10%	20%	16%	45%
Slovakia	17.3	20%	19%	28%	24%	8%	47%
Finland	33.9	15%	25%	8%	18%	29%	33%
Sweden	49.1	5%	24%	2%	35%	35%	26%
United Kingdom	201.1	19%	34%	33%	9%	5%	66%

(資料) Eurostat データより作成

(参考資料 3) エネルギーの品目別輸入依存度 (2013 年)

	全体	固形燃料	石油製品	ガス
EU (28 countries)	53	44	87	65
Belgium	78	95	102	101
Bulgaria	38	16	104	93
Czech Republic	28	-12	96	100
Denmark	12	91	-14	-23
Germany	63	45	96	87
Estonia	12	0	60	100
Ireland	89	72	100	96
Greece	62	3	94	100
Spain	71	70	97	99
France	48	93	99	97
Croatia	52	110	77	32
Italy	77	96	91	88
Cyprus	96	100	101	:
Latvia	56	89	100	116
Lithuania	78	100	93	100
Luxembourg	97	100	100	100
Hungary	52	30	84	72
Malta	104	:	105	:
Netherlands	26	112	95	-87
Austria	62	94	93	76
Poland	26	-10	91	74
Portugal	74	95	97	102
Romania	19	19	47	12
Slovenia	47	19	96	100
Slovakia	60	81	89	96
Finland	49	66	106	100
Sweden	32	82	102	99
United Kingdom	46	82	40	50

(資料) Eurostat データより作成

【参考文献】

CESifo, “World Economic Survey”, Nov.2014

CESifo, “World Economic Survey”, Aug.2014

Deutsche Bank Research, “The economics of sanctions: The West can afford to be tough”, May 2014

EBRD, “Regional Economic Prospects in EBRD Countries of Operations”, Sept.2014

Georg Zachmann, “Can Europe survive without Russian gas?”, Mar.2014

Georg Zachmann, “The cost of escalating sanctions on Russia over Ukraine and Crimea”, Mar.2014

Moody’s Investors Service, “Russia & the EU: EU Economies Would Be Resilient to a Russian Recession”, May 2014

The Vienna Institute for International Economic Studies, “Economic Consequences of the Ukraine Conflict”, Nov.2014

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべて御客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願ひ申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。

Copyright 2015 Institute for International Monetary Affairs (公益財団法人 国際通貨研究所)

All rights reserved. Except for brief quotations embodied in articles and reviews, no part of this publication may be reproduced in any form or by any means, including photocopy, without permission from the Institute for International Monetary Affairs.

Address: 3-2, Nihombashi Hongokuchō 1-chōme, Chūō-ku, Tokyo 103-0021, Japan

Telephone: 81-3-3245-6934, Facsimile: 81-3-3231-5422

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 1-3-2

電話 : 03-3245-6934 (代) ファックス : 03-3231-5422

e-mail: admin@iima.or.jp

URL: <http://www.iima.or.jp>